



日野まちかど感応館(観光交流拠点施設)がグランドオープン



日野のおいしいものを 味わってほしい

「訪れた人に、日野のおいしいものを味わってほしい」と話す外池さん。メニューを考える際、「日野といえ、やっぱりお米」と、シンプルなお米の良さが分かるにぎり飯を作ることに。炊きたてあつあつで、ふわつとした食感がこだわりのにぎり飯。毎日その日の分を精米し、注文を受けてからにぎるそうです。

また、お惣菜なども全て日野町産。「農家さんに、生産者として生産をもっと増やしてもらい、お客さんには、日野の食材を楽しんでもらう。そうした循環がどんどん盛り上がりつつある」と力強く話してくださいました。

日野まちかど感応館(観光交流拠点施設)「以下：新館」は、日野まちかど感応館前に建設され、日野の食を楽しむ場、創業を支援する場として開設されました。新館には・・・

①「にぎり飯・惣菜」「みかく」
観光協会が運営する軽食コーナー「みかく」。

②「創業支援」の施設
町内で飲食店などの新規事業を考えている方に有料で販売スペースを提供。

③休憩所・お土産コーナー

今回、「みかく」を担当す

る外池多津彦さんにお話しを伺いました。

「食べる」ところが少ない の声を受け

まちなかには、日野独特の「栈敷窓」や近江日野商人の屋敷があり、近年、観光客が増えています。しかし、飲食できる場所が少なく、昼食時に他へ移動しないといけない、といった声がありました。

そうした声に応えるため、町が新しく整備した新館。新館内には軽食コーナー「みかく」がオープンしました。



おいしいランチセットをPRする外池さん

「ご飯めっちゃおいしい」と言ってもらえることが一番うれしい」と、笑顔で話す外池さん。今後は、「メニューのレパートリーを増やしていきたい」と意気込みを話してくださいました。

【開館時間】

新館 午前9時～午後4時30分
(月曜休館)
みかく 午前11時～午後3時
(月曜休館)

【定番メニュー】

- ・にぎり飯(塩、こんぶ、しゃけ、梅、明太子、近江牛しぐれ、日野菜)
- ・近江牛入りコロッケ、蔵尾ポークコロッケ、蔵尾ポークメンチカツ
- ・近江鶏唐揚げ
- ・新鮮な野菜を使ったお惣菜
- ・お出汁のきいたみそ汁
(全てテイクアウト可)

日野町消防団長谷口登さんに 藍綬褒章



日野町消防団長の谷口登さん(野出)が11月3日に藍綬褒章を受章されました。谷口さんは、平成3年4月に日野町消防団に入団され、長きにわたり、常に現場の第一線で災害から町を守る重責を担ってこられました。

平成24年には消防団長に就任され、消防の知識・技術を高めるため、各種の教育訓練に積極的に参加するとともに、団員に対しても参加を奨励し、団員の資質向上と育成に努めるなど「災害に強い町づくり」に大きく貢献され、これらの功績が認められたものです。「地域の皆さんからの支えをいただいていたの受章となりました。これからも町の安全・安心な町づくりのため、微力ではありますが尽力していきます」と喜びの言葉を寄せられています。おめでとございます。

ひのらこだより

日野町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

こばと園

【保育目標】・明るく丈夫な子・友だちとなかよく遊べる子・よく考える子



現在0歳児11名、1歳児13名、2歳児18名、3歳児21名、4歳児22名、5歳児24名の全園児109名が在籍しています。今年度は『身近な環境や人との関わりの中で、心を動かし、自ら活動する子どもを目指して』をテーマに、豊かな自然に囲まれた環境の中で地域の方々と関わりながら、遊びや生活を楽しんでいます。

元気な体づくり

3歳児～5歳児は園庭でラジオ体操とマラソンをしています。『元気な体をつくる!』だけでなく、友達と一緒に体操したり走ったりすることがとても楽しそうな子ども達です。体と一緒に心も育みます。



野菜栽培

食育の一環として、地域の方の畑をお借りして野菜の栽培をしています。野菜の世話をする中で、生長の変化に気が付き命の大切さを学んでいます。芋ほりでは、大きなお芋が取れ、5歳児がスイートポテトを作りました。調理の経験で食事を作っていただく方への感謝の気持ちも深まります。



交通安全教室

必佐駐在所の駐在さんに横断歩道の渡り方や交通ルールを教えてくださいました。ちょっとドキドキしながら実際に道路を歩き、信号機を見て確認し、横断歩道を渡る練習をします。教えていただいたことは散歩に行った時に何度もすることで身につけます。



お散歩・遠足

自然の中で季節の移り変わりに気付いたり、小さな発見を求め、0～1歳児は園周辺にお散歩に行きます。2～5歳児は近くのあぜ道や公園・神社・畜産技術振興センターに散歩やバス遠足にも行きます。センターではいろいろな動物を見たり触ったりします。



桜谷こども園

【教育・保育目標】未来を拓く 心豊かでたくましい子どもの育成
～人・ものとの豊かなかかわりを通して～

第1園舎は3～5歳児が50名、第2園舎は0～2歳児が35名、計85名の園児が在籍しています。こども園の3～5歳児は、保護者の就労に関係なく、同じ教育、保育を受けられることが特徴です。短時間部(8時30分～14時00分)と長時間部(保護者の就労に合わせた時間)の園児と一緒に生活をしています。

ありのままの自分が認められ、「わかってもらえる」「自分は大切な存在なんだ」と感じる安心感、信頼感、そして自己肯定感を土台として、周りの人やものに主体的にかかわる体験を通して、豊かな心と健やかな体を育み、どんな困難も乗り越えていける“生きる力”につながる教育・保育を目指しています。



学びいっぱい

「やってみよう」「できた」「またやりたい」と思える環境や保育者の関わりにより、子どもが夢中で遊び、試行錯誤を繰り返す中で**主体的な学び**が生まれます。



笑顔いっぱい



保育者や友達と一緒に自然に触れたり、体を使って遊んだりする中で、**健やかな体**が育まれます。0～2歳児は、一人一人の生活リズムに合わせた関わりを大切にしています。

友達いっぱい

「先生と一緒になら安心」「友達と一緒に楽しい」「地域の人に大切にされている」など、人と関わる喜びを感じる中で、人への信頼感や自己肯定感など、豊かな心が育まれます。



◆問い合わせ先 子ども支援課 子ども支援担当 ☎0748-52-6583